



晩秋の大雪 草紅葉 (写真:医療連携福祉センター 一條 良子)

ごあいさつ

医療連携福祉センター長 橋本 曜佳 (札幌医科大学 医学部 医療安全・病院管理学講座 教授)



本年度より医療連携福祉センター長に就任いたしました橋本です。連携機関の皆様におかれましては、平素より当センターの運営に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私の専門は医療安全ですが、医療安全の本質は医療の質をいかに高めるか、に尽きると言えます。そして、その医療の質向上の実現は、一つの医療機関で成し遂げられるようなものではなく、皆様方の医療機関との連携が不可欠であることを日々強く感じております。困った時はお互い様、の精神こそが、安心・安全な医療の実現に最も大切な事だと心に留めております。

当院では、昨年度より「入退院支援加算1」の算定を開始し、入院前から退院後まで切れ目のない支援体制の整備に取り組んでおります。その一環として、昨年度から地域の医療機関の皆様とのオンラインミーティングを定期的に開催しております。

オンラインミーティングは、昨年度は4回、今年度はこれまでに2回実施し、各回30機関以上の皆様にご参加いただいております。日頃の診療や支援の現場で直面する課題を共有することで、これまで以上に相互理解が深まり、「顔の見える」関係づくりが着実に進んでいると感じております。

今後も、地域のニーズに応えるべく、連携強化に努めてまいります。引き続き皆様のご協力と、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

医療連携福祉センターの係編成が変わり3年目となりました。 本号ではあらためて各係の業務内容や、取り組みについて ご紹介します。

医療連携福祉係

医療連携福祉係長 工藤 晃聖

医療連携福祉係は、患者さんが安心して医療を受けられる環境づくりを支える、縁の下の力持ちのような存在です。係では、事務総括から患者支援まで幅広い業務を担当しており、医療と福祉の両面から病院運営を支えています。

まず、センター全体の事務総括や庶務をはじめ、係内の企画・調整、中期・年度計画の策定、予算管理など、運営の基盤となる業務を担っています。これらは、円滑なセンター運営に欠かせない重要な役割です。

また、附属病院に寄せられるご意見・投書の処理、患者サービス向上委員会・ボランティア運営委員会の事務局業務、ボランティア表彰式の企画など、患者さんや地域との信頼関係を築く活動にも力を入れています。

患者支援に関しては、院外患者を中心とした経済的・心理的・社会的問題への相談援助、就労支援、カウンセリング、診療情報の個人情報開示、ファミリーハウスの運営など、多岐にわたる支援を行っています。がん相談支援センターや肝疾患センター、HIV診療チームなど専門的な相談窓口とも連携し、患者さんとご家族の不安に寄り添った支援を提供しています。

さらに、新患外来患者の予約受付、セカンドオピニオン対応、他院受診の予約調整、医師からの依頼による入院調整、他医療機関からの照会対応など、医療連携の実務も担っています。患者お見舞いメールの受付や、心理判定など、細やかなサービスも行っています。

医療連携福祉係は、患者さん・ご家族・医療スタッフ・地域の関係機関との橋渡し役として、日々多様な業務に取り組んでいます。今後も、患者さんが安心して医療を受けられるよう、きめ細やかな支援と連携を続けてまいります。



写真：R7年10月6日開催 当院がん相談サロン主催 学習会「がんとこころのセルフケア」
(講師：当院神経精神科 石田智隆先生) の様子

入院支援係

入院支援係長 松本 由希子

入院支援係は令和3年4月に設置され、PFM (Patient Flow Management) の推進に関与し、外来患者さんを対象に入院前面談を通して、入院後安全にスムーズに治療が開始できるよう、入院前から退院を見据えた支援業務を行っております。現在、看護師2名が5診療科の患者さんを中心に入院前面談に関わっています。

入院前面談では、患者さんの基本情報をお聞きし、入院前に必要な準備（服薬状況の確認と治療前中止薬の確認、栄養状態の評価・改善へのアプローチ、アレルギー食への対応等）を医師・薬剤師・管理栄養士等と協働しています。また、治療予定やケアに関する情報を提供し、不安が軽減できるよう努めています。入院前から退院までの間、迅速かつ継続的な関わりができるよう、病棟看護師をはじめ医療連携福祉センター患者サポート係とも連携を図っています。

入院支援係は、院内の病床コントロールにも関与しています。具体的には、患者さんのニーズに近づける形で有料室の確保、自部署で病床の確保が困難な場合は他病棟での病床の調整といった共用ベッドの運用・管理を行い、予定された入院がスムーズにできるような支援をしています。

入院支援係では、患者さんが安心して療養及び地域での生活ができますようご支援させていただくとともに、効果的・効率的な病床コントロールを促進し、病院経営にも貢献できるよう尽力していきたいと考えております。

患者サポート係

患者サポート係 主査(入退院指導) 田邑 泉

○入退院支援加算1の算定開始について

患者サポート係は、後方支援として退院支援・退院調整、また患者さんの各種医療福祉相談対応をおこなっています。当院は昨年より入退院支援加算1の算定を開始し、居宅介護支援事業所をはじめとした介護事業者の皆様とは、日頃から退院前カンファレンスなどで顔の見える連携を心がけております。近年は退院前カンファレンスのほか、入院時にケアプラン等を共有いただく際、お声かけさせていただきTeamsなどのオンラインツールを利用したカンファレンスを開催するケースも増えてきています。今後も事業所の皆様とは対面・オンラインともに密な連携に努めてまいります。ぜひ、ご担当患者さんの入院の際には、患者サポート係各診療科担当へご一報ください。どうぞよろしくお願ひいたします。

○在宅医療を学ぼう！・・・ドキュメンタリー映画『あなたのおみとり』観賞会

6月のある日の終業後、スタッフの声かけにより係有志メンバーで、映画『あなたのおみとり』*を鑑賞しました。この作品は、末期がんの父の「自宅で最期を迎えたい」という願いを受け、86歳の母が自宅での看取りを決意した40日あまりの日々を、息子である村上浩康監督が自ら記録したドキュメンタリー映画です。在宅での看取りに向き合う親子の姿が笑いと涙を交えつつ

リアルに描かれ、綺麗事だけでは語れない現実を実感しました。また、病院と在宅をつなぐ私たちの業務の意義を改めて考えさせられ、日々の支援に活かしたいと感じる、心に残る作品でした。



*『あなたのおみとり』村上浩康監督／2024年／95分／日本／©EIGA no MURA

写真：鑑賞会の様子（著作権保護のため一部画像を加工しております）

インフォメーション【1】

○新患の外来受診予約について

1. 新患外来予約の申し込み先等

専用FAX番号：011-621-2233

電話番号：011-611-2111（内線51240）

※月曜日から金曜日まで（祝祭日を除く）

2. 予約の申し込み方法

○新患外来予約専用の申込用紙「新患外来診療予約申込書」に記入の上、FAXでお申し込みください。専用の書式は当院のホームページからダウンロードできます。

申込書2枚目の右上に「Ver1.6」と記載があるものが最新となります。

※お電話いただければ様式をお送りすることも可能です。

～新患外来受診予約のWEBサイト

<http://web.sapmed.ac.jp/hospital/medical/mumhv60000002zmz.html>



・受付時間：午前9:00～12:00、午後13:00～16:00まで

※16時以降のFAX受信は、翌診療日の受付となります。

・患者さんご本人からの予約申込みは受け付けておりません。（遺伝子診療科、神経精神科を除く）

・**申込当日にFAXで予約票をお送りします（産科周産期科は3診療日後となります）。**お送りしました予約票は、貴院から患者さんへお渡しください。

・申込当日と翌日の予約申込み、検査のみの予約申込みは承っておりませんので注意ください。

・申込みをいただき受診いただいても、疾病の内容などにより、当院では診療をお受けできない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

申込みFAXに関するお願い

- ・送信枚数が8枚以上になる場合は、あらかじめ電話でご連絡をお願いします。混み合う時間を避けるようお願いする場合があります。特に、検査データ等の枚数が多くなる場合はご協力お願いします。
- ・紙面による画像・写真の送信は黒く印刷され確認が難しいため、ご遠慮下さい。
- ・初診の申し込みではなく、再来受診の患者さんの事前の診療情報提供書の送信については、新患外来予約では受け付けておりませんのでご了承下さい。受診当日に患者さんがご持参下さい。

3. 受診受付

・患者さんは、予約票、保険証、診療情報提供書などをお持ちの上、予約時間の30分前までに新患受付5番窓口で受付を済ませてから、外来でお待ちください。



インフォメーション【2】

医療連携福祉センターでは、大学病院として、高度急性期医療と良質で満足度の高い医療サービスの提供のため、地域の医療機関等との連携体制の推進に努めています。より良い連携を今後も推進していくために、在宅ケア機関からお問い合わせが多い業務について、具体的にご案内いたします。

○訪問看護や介護保険サービスで担当している患者さんが当院に入院したとき

- 病状の問い合わせは入院病棟の看護師にお問い合わせください。
- 看護サマリー等は入院連携担当者へお電話の上、FAXしていただければ病棟にお届けします。

医療連携福祉係 入院連携担当 電話番号 011-611-2111 (内線51190)

入院連携専用FAX 011-688-9609

○訪問看護や介護保険サービスで担当している患者さんが外来通院中のとき

- 通院中の患者さんについての報告など、情報提供は書面にして「**医事課 文書受付窓口**」まで郵送してください。受診日が近いなど急ぐ場合は、事前に患者サポート係へ電話連絡をしてから、医療連携福祉センターにFAXしていただければ外来にお届けします。

※訪問看護指示書の依頼や報告書も「**医事課 文書受付窓口**」でお受けしています。

- 現在継続して受診中の患者さんの受診日の変更や病状についてのご相談は、各外来看護師に連絡してください（午前中は混み合っているため**14時～15時30分**にお願いします）。

- 患者さんの中には、いくつも病院にかかっているので札幌医大病院にまとめたいという要望もあるようですが、高度急性期医療機関であることをご理解いただき、まずはかかりつけ医にご相談いただきますようご協力をお願いします。

※患者サポート係が関わった患者さんに関するお問い合わせは、各担当者にご連絡ください。

○文書を依頼するとき

- 患者さんが、通所リハビリに通いたい、訪問入浴サービスを導入したい等で、医師の診療情報提供書が必要なときは、患者さんの同意が確認できる依頼書により、診療情報提供書の提供に応じています（有料となりますので、自己負担が生じることをご理解の上、お申込みください）。

- 依頼する場合は、専用書式「診療情報提供依頼書」に内容記載し、必要書類添付のうえ、「**医事課 文書受付窓口**」あてに郵送でお願いします。専用書式は、医療連携福祉センターWEBサイトの「保健・福祉関係機関の方へ」からダウンロードできます。診療情報提供料については、患者さんあてに納入通知書を郵送しますので、届きましたらお近くの金融機関でお支払いください。

注1 施設の所定様式等がありましたら同封してください。

注2 FAX、メールでの受け付けは行っておりません。

注3 直接、医師への依頼はできません。

注4 患者の「生年月日」、「必要な理由及び情報提供必要事項等」の必要事項の記載漏れがないようお願いします。

注5 切手を貼付した返信用封筒の同封をお願いします。

詳しくは文書依頼のWEBサイトをご覧ください。

<https://web.sapmed.ac.jp/hospital/mpc/b1h6400000000958.html>

医事課 文書受付窓口 電話番号 011-611-2111 (内線32040)

○相談窓口

当院は、がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、エイズ治療拠点病院（エイズ治療ブロック拠点病院）の指定を受けており、医療連携福祉係のMSWが当院の患者さんに限らず広く次の相談をお受けしております。当院に通院中の患者さん・ご家族の医療や生活に関する相談については、医療連携福祉センター患者サポート係が対応しています。どちらに相談すべきか迷うときは、まず医療連携福祉センターにお問い合わせください。なお、窓口での相談については**予約制**とし、お待たせする時間がないようにしております。

●がん相談

がんの患者さんやご家族からの、療養や生活に関する心配ごと、社会制度の活用などについて、個別の相談に応じております。

◇受付電話・受付時間…011-688-9506 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）の9:00～17:00

●がん相談サロン

大学寄附講座「AIN・NTR緩和医療学・支持療法学講座」と連携して、がん患者さんやご家族を対象とした交流会、学習会などを開催しております。開催日時のお問い合わせは下記サロン事務局にお願いします。

◇受付電話・受付時間…011-616-0234 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）の9:00～17:00

●肝疾患センター

肝疾患についての個別相談のほか、多くの方に肝疾患を理解してもらうための「市民公開講座」等を開催しています。

◇受付電話・受付時間…011-611-5700 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）の9:00～17:00

●HIV外来の診療予約に伴う相談

HIV/AIDS診療を希望される方（初診の方）は、予め電話により受診日時の予約が必要です。HIVの知識を持った看護師が対応し、「検査を受けたい」、「検査で陽性といわれた」などの相談も含め対応しています。

◇受付電話・受付時間…011-611-2111（内科外来 内線32770）

月曜日～金曜日（祝祭日を除く）の9:00～16:00



詳しくは、札幌医科大学附属病院医療連携福祉センターのWEBサイトをご覧ください。

<https://web.sapmed.ac.jp/hospital/mpc/>

編集後記

今年の北海道の夏は記録的な暑さに見舞われ、札幌では真夏日が101年ぶりに最多を更新しました。秋には各地でクマなどの野生動物の出没が相次ぎ、気候の変化とその影響を身近に感じる昨今です。

今号ではセンター長からのご挨拶に加え、医療連携福祉係・患者サポート係・入院支援係の各部署より、日々の取り組みや現場の声をお届けしています。日々、入退院の調整や多様な相談対応など、それぞれの部署の役割は異なりますが、どの業務においても連携の大切さをあらためて感じています。医療福祉機関、事業所の皆様には、日頃より多方面にわたるご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。これからも地域のニーズに応えるべく、皆様と力を合わせ、よりよい支援を目指していきます。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

（医療連携福祉センター 副センター長 香西 慰枝）



札幌医科大学附属病院 医療連携福祉センター

医療連携福祉係	内線31840、31960、31910、31900、51230 51190（入院連携担当：直通FAX 011-688-9609）、 51240（新患受付担当：直通FAX 011-621-2233）
患者サポート係	内線31930、51210、51250、51330、51360、51340 51260、51270、31891、31890、70001、38840 直通FAX 011-688-8335
入院支援係	内線38830

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目
TEL: 011-611-2111（代表）